

厚木愛甲環境施設組合事業懇話会先進施設視察

平成 19 年度第 2 回懇話会は、厚木愛甲環境施設組合が目指す環境に配慮した適正な広域ごみ処理施設整備に向けて参考にするため、資源・エネルギー回収の徹底、環境負荷の低減、最終処分量の最小化の 3 つを主な目標として平成 18 年 12 月に完成した東京二十三区清掃一部事務組合の葛飾清掃工場の視察を行いました。当日は、概要説明や工場見学後、環境対策や資源化などについて熱心な質疑応答がされました。



敷地面積 61,000 m²
焼却炉 500 t / 日 (250 t / 日・炉 × 2 基)
灰溶融炉 110 t / 日 (55 t / 日・炉 × 2 基)
(プラズマ式灰溶融炉)

- 1 日 時 平成 20 年 1 月 22 日 (火)
- 2 場 所 葛飾清掃工場 (東京二十三区清掃一部事務組合)
- 3 参加人数 厚木愛甲環境施設組合事業懇話会委員 9 人



工場長の説明



広いプラットホーム



道路向側の葛飾区水元社会教育館に熱供給



床にスラグのサンプルを展示



蒸気タービン発電機を見学



床の絵は煙突の大きさを示しています